

## 國枝 武伸 氏の学位審査結果の要旨

主査：浅井 昭雄

副査：塩島 一朗、谷川 昇

國枝氏より上記の内容でプレゼンがおこなわれた。これに対し、審査委員より type 3 の側副血行路には種々の程度があるはずだが、どこで線を引いたのかという質問があったのに対し、國枝氏より all or nothing 式に線を引いたとの回答があった。審査員より、側副血行路が十分に発達しているものでは CVR 血管造影上、type3 側副血行路が認められないものの大半で CVR（脳循環予備能）が低下していないのに対し、type 3 側副血行路が認められるものの約半数で CVR が低下していないのは、側副血行路からの血流が十分なものも含まれているためかとの質問に対し、國枝氏よりその通りですとの回答があった。また、別の審査員より、アセタゾラミド負荷による脳血流 IMP-SPECT についての基本的な質問が 2, 3 あり、それに対しても的確な回答があった。また、別の審査員より、中大脳動脈領域の血流を測定するのは一般的なことなのかとの質問があり、國枝氏より、内頸動脈系の血流の約 7 割が中大脳動脈領域を養っている旨の回答があった。以上、プレゼンの内容、その後の質疑応答に関して、審査員全会一致で本学の学位にふさわしいとの結論に至った。